

シェフラー、ドイツ・ヘルツォーゲンアウラッハに最先端テクノロジーセンターを開設

- シェフラーの本社があるドイツ・ヘルツォーゲンアウラッハにテクノロジーセンターが完成
- 9,000 万ユーロにのぼる投資額は、産業基盤として地域と国に貢献するシェフラーのコミットメントの証
- 電動モビリティ、バッテリー技術、水素などの成長が期待される分野向けに材料科学の開発ノウハウをテクノロジーセンターに結集

2024 年 10 月 30 日 | Herzogenaurach / Yokohama

シェフラーAG は、ドイツ・ヘルツォーゲンアウラッハにある本社に最先端のテクノロジーセンターを開設しました。テクノロジーセンターの建設におよそ 9,000 万ユーロを投じ、予定どおり工期 2 年 5 か月で完成しました。敷地面積 18,000 平方メートルを超えるテクノロジーセンターには、材料科学と材料工学の中核的な専門技術が結集されています。こうした専門技術は、電動モビリティ、バッテリー技術、水素分野での技術革新の発展に極めて重要となります。

シェフラーAG の最高経営責任者 (CEO) であるクラウス・ローゼンフェルドは次のように述べています。「ヘルツォーゲンアウラッハの最先端のテクノロジーセンターは、産業基盤としてドイツに貢献するシェフラーのコミットメントを証明するものであり、優れた革新力と開発力を示す象徴的な存在となります。こうした革新力と開発力は、数十年にわたりシェフラーを競合他社から際立たせてきた強みです。新しいテクノロジーセンターを通じて、シェフラーは成長が期待される分野におけるイノベーション実現の加速化を図ります。これは、モーションテクノロジーのリーディングカンパニーを構築するという当社ミッションの一環です。」

シェフラー本社に技術的マイルストーン

およそ 340 人が勤務できる広さをもつ新テクノロジーセンターには、測定、試験、校正システムのほか、材料、化学、コーティング、ナノテクノロジーを扱う 15 の研究ラボがあり、エネルギーとモビリティの移行を促進するソリューションに重点が置かれています。新しい研究ラボでは、固体電池やシェフラーの水素燃料電池用バイポーラプレートに用いる革新的コーティングなど、材料科学および材料工学の分野に研究活動を集中させる予定です。さらに EMC ラボでは、シェフラーの革新的パワーエレクトロニクスなどの電子部品に対する EMC (電磁適合性) 試験

を実施することができます。EMC 試験は、製品の安全性と電磁妨害に対する耐性の強化に寄与するため、電動モビリティに必要不可欠です。

テクノロジーセンターのオフィス空間はすべて、「ニューワーク(新しい働き方)」の原則に従って設計されており、コラボレーションと学際的チームワークを促進する職場環境となっています。建物は最も厳しいサステナビリティ要件に適合しており、DGNB(ドイツ・サステナブル建築協会)のゴールドスタンダードの認定を受けています。たとえば、テクノロジーセンターの暖房は、生産工程で生じる廃熱を利用しています。

シェフラーAG で最高技術責任者(CTO)を務めるウーヴェ・ヴァーグナーは、次のように述べています。「革新的材料は、電動モビリティ、ロボット、風力発電などのモーションテクノロジー分野における持続可能なソリューションにとって非常に重要です。ヘルツォーゲンアウラッハのテクノロジーセンターは、今後新たなベンチマークを打ち立て、長期的にシェフラーのグローバルな研究開発ネットワークの強化に寄与します。」

新しいテクノロジーセンターには、ヴィテスコ・テクノロジーズの買収により再編成された製品・サービス群(今後は 8 つの製品群となります)を、お客様やサプライヤー、従業員に展示・紹介する「Motion Hub」と呼ばれるエリアが設けられています。



シェフラーAG の CEO クラウス・ローゼンフェルト(左から 2 番目)、最高技術責任者ウーヴェ・ヴァーグナー(左端)、最高執行責任者アンドレアス・シック(右端)、スペースマネジメント&ニューワーク部門企業不動産プロジェクト責任者のサンドラ・ケルナー(右から 2 番目)、R&D シニアプロジェクトマネージャーのスヴェン・ブラント(右から 3 番目)、コーポレートリサーチ・イノベーション&セントラルテクノロジー部門シニアバイスプレジデントのティム・ホーゼンフェルト(左から 3 番目、テクノロジーセンターの記念の鍵がスヴェン・ブラントから手渡されました)



ドイツ・ヘルツォーゲンアウラッハに新設のテクノロジーセンターに材料科学と材料工学の中核的な専門技術を結集



テクノロジーセンターは 15 の研究ラボを擁し、およそ 340 人の従業員に最先端の職場環境を提供

写真 シェフラー (Daniel Karmann)

当社取締役会メンバーのプレス用写真はこちらからご覧いただけます。

www.schaeffler.com/en/executive-board

将来の見通しに関する記述および予測

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述は、その性質上、将来の見通しに関する記述および予測で表現または暗示された内容と実際の結果や展開が大幅に異なる可能性がある、いくつかのリスク、不確実性、仮定を含んでいます。これらのリスク、不確実性、仮定は、本書に記載された計画や展開の結果や財務状況に悪影響を及ぼす可能性があります。将来の見通しに関する記述を、新しい情報や将来の出来事の発生、その他の結果として、公表により更新または修正する義務を負うものではありません。本プレスリリースを受け取った方は、本プレスリリースの日付時点での見通しに関する記述のみに過度な信頼を置かないようご注意ください。本プレスリリースに含まれる過去の傾向や進展に関する記述は、将来も継続するものとみなすべきではありません。上記の注意書きは、シェフラーまたは同社を代表する人物が口頭または書面で行う将来の見通しに関する記述と併せて考慮されるべきものです。

シェフラーグループ – We pioneer motion

シェフラーグループは、75年以上にわたりモーションテクノロジーの分野で画期的な発明と開発を推進してきました。電動モビリティやCO₂効率の高い駆動システム、シャシーソリューション、そして再生可能エネルギーのための革新的なテクノロジー、製品、サービスにより、シェフラーグループは、モーションの効率性、インテリジェンス、持続可能性を高めるための、ライフサイクル全体にわたる信頼できるパートナーです。シェフラーは、モビリティエコシステムにおける包括的な製品とサービスの範囲を、ベアリングソリューションやあらゆる種類のリニアガイドシステムから修理および監視サービスに至るまで、8つの製品ファミリーによって説明しています。シェフラーは、約120,000人の従業員と55か国に約250以上の拠点をもち、世界最大級の同族会社でありドイツで最も革新的な企業の一つです。

連絡先

シェフラージャパン株式会社
広報部 マネージャー 川村 修
TEL: +81 45-287-9841
E-mail: pr-japan@schaeffler.com

